

令和8年第425回信濃町議会定例会6月会議再開あいさつ

令和8年6月4日

信濃町長 鈴木 文雄

議会議事堂にて

本日ここに、第425回信濃町議会定例会6月会議の再開、並びに本会議にご提案を申し上げます各議案の審議に先立ち、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位におかれましては、公私ともにご多忙の中、ご出席を賜り厚く御礼申し上げます。

6月を迎え、黒姫山に残っていた雪もすっかり消え、周囲の木々の緑が一段と濃くなり、田植えを終えた水田には、周囲の山々が映り込み、初夏の日差しを感じる季節となってまいりました。

このところ、温暖化のためなのか、年を追うごとに、春から一気に夏になることが多くなつたと、感じております。

これから本格的な梅雨、そして台風の時期を迎えることとなりますが、近年、全国で頻発している、線状降水帯などによる局地的な豪雨災害への備えが必要となってまいります。

先月末には、気象庁において、新たな防災気象情報の運用が開始され、警報など取り扱いが大きく変更されました。これまでの区分とは異なりますので、出水期を控え、その内容を正確に理解し、町民の皆様へ効果的な避難行動をお示しできるようにしてまいりたいと考えております。

また、中東情勢の長期化による町民生活への影響につきましては、国において補正予算の審議を行っている最中ではありますが、引き続き、国や県の動向を注視しつつ、地方への交付金等を活用し、必要な支援策を迅速に講じていく所存でございます。

さて、今回提出いたします議案でございますが、条例関係が5件、令和8年度一般会計など補正予算関係が6件、合わせて11件を予定しております。

また、報告関係につきましては、令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書について報告を申し上げます。

一般会計補正予算第2号につきましては、総額93,966千円を追加するものでございます。

具体的には、近年の物価高騰を背景とした民間企業における賃上げの動向、ならびに国の人事院勧告を踏まえ、職員給与の増額改定に係る費用を計上いたしました。

今回の増額は、深刻化する民間給与格差を是正し、今後の行政を担う優秀な人材を安定的に確保するために、避けて通れない対応でございます。

職員においては、この処遇改善を機に、町民の皆様への更なる行政サービスの向上と、直面する地域課題の解決に向けて、より一層の責任感と情熱を持って、職務にまい進するよう強く求めてまいります。

そのような中で、今年度から若手職員が早期に現場感覚を養い、自ら課題を発見して解決できるプロフェッショナルへと成長できるよう、月例での研修の機会を設けました。

今後3年間、継続して行うものでございますが、これからの激変する時代において、多様化する町民ニーズに的確に応えていくために、どのような成果があげられるか、大いに期待をしているところでございます。

なお、職員給与の増額に係るのもの以外の補正予算につきましては、

- ・2款 総務費では、町制70周年記念事業のうち、記念式典に係る費用で1,055千円、GX推進事業で692千円の増額。
- ・3款 民生費では、保育園関係の児童福祉経費で1,644千円の増額。
- ・4款 衛生費では、枅形不燃物最終処分場えん堤の獣害復旧工事費として、2,200千円の増額。
- ・5款 農林水産業費では、有害鳥獣対策として、船岳地区の電気柵設置、緩衝帯整備の草刈り機購入で、2,684千円の増額。
- ・7款 土木費では、道路橋りょう維持工事費で9,900千円、道路維持修繕工事で3,531千円を増額するものでございます。

いずれも重要な案件でございますので、何卒ご審議を賜り、ご承認・ご決定くださいますようお願い申し上げます。

また、議員各位におかれましては、今後とも一層、町政の運営にご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げ、会議再開にあたってのあいさつといたします。